



**NEWS!! 5月22日**

**きしわだ恐竜教室@きしわだ自然資料館**

きしわだ自然資料館はチリメンモンスターで有名ですが、展示の方もキシワダワニをはじめ、来館者が持ち寄った資料を展示するコーナーや林のジオラマ、博物館から寄贈された剥製が大量に並んでいるフロアなど見どころがいっぱい。今回のきしわだ恐竜教室の講師は、恐竜模型作家の徳川広和さん。まずはパー君会長の私、大野が講義をさせていただきました。講義といっても古生物学の超・入門編といった感じで、クイズをしたり子供たちの予想外のツッコミに翻弄されたりしつつ、楽しくやりました。次に徳川さんによる復元画のワークショップ。アロサウルスの頭骨の図から復元図を描くというものです。歯の露出の加減や目や鼻、鱗の描き方で、人によって表情が大きく変わるので、見ていてとっても面白いです！そして、恐竜フィギュアの色塗り。「大人げない大人もどうぞ」とのことだったので、パー君メンバーも色塗りに挑戦！机間をまわってみました。復元図同様、みんな個性的な色使いや模様で、とても興味深かったですね。

恐竜教室終了後、「大人の部」ということで、徳川さんのドイツ恐竜旅行のお話を聞きました。おなじみの恐竜から知らない人は知らない獣弓類や海生生物まで、どんどん出てくる化石！化石！化石！私、博士号とったらドイツに行くんだ・・・！と思いたくなるような内容でした。

さて、次回8月のきしわだ恐竜教室では、新入生が初レクチャーを行います！新入部員よ、頑張ってくれっ！！



**コラム ～中国の大型ティラノサウルス類！！～**

2009年、中国山東省諸城(Zhucheng)市にある採石場から白亜紀後期(Maastrichtian)の大型の獣脚類が見つかった。発見された化石は、下顎骨、上顎骨、歯骨と部分的なものだが、見つかった8本の歯は長いもので10cmにもなり、推定体長11m、体高4m、体重6トンとされています。学名は *Zhuchengtyrannus magnus* (ズーチェンティラヌス・マグヌス)、「巨大な諸城の暴君」とのこと。ちなみに、この恐竜の命名者は、発見地+サウルス(place-name-saurus)という形式に不満を抱いているとか、いないとか。(個人的にはこの名前を気に入っているので、ズーチェンティラヌスのズーちゃんとか言ってみたりする・・・)



**会員紹介 長森大樹**

好きな恐竜: トリケラトプス、トロオドン、サウロペルタ  
好きな古生物: タペヤラ、デイノスクス、カルカロドン・メガロドン  
好きなアニメ: 新世紀エヴァンゲリオン  
趣味: 音楽鑑賞、TVゲーム



白亜紀後期最大級の角竜。大きなフリルは幅が最大で2.5mにもなった。鼻と目の上に角を持ち、目の上の角は90cmを超える。

**今日の古生物 エウステノプテロン**

学名 *Eusthenopteron*  
分類: 魚類・総鱗目・扇鱗亜目・オステオレピス下目・エウステノプテロン科  
生息年代: デボン紀後期  
生息地域: 北米、ヨーロッパ  
全長: 30~120cm



**今後の予定・イベント情報**

- 活動予定(6,7月)
- 6/22 勉強会、JP通信第2号発行
- 7/1 勉強会
- 7/15 勉強会、JP通信第3号発行
- 7/24 ワークショップ@大東市
- イベント情報
- ▶ 日本古生物学会年会 7月1日-7月3日@金沢
- ▶ 大化石展 7月2日-8月28日@大阪
- ▶ 恐竜博2011 7月2日-10月2日@東京
- ▶ 新説・恐竜の成長 7月8日-10月10日@勝山
- ▶ 黄河大恐竜展 7月16日-8月31日@名古屋